

## ④ 昆虫類

### 概要

かなり自然が少なくなった吹田市内ですが、現地調査だけで 696 種、文献も入れると 14 目 211 科 1177 種の昆虫類がいることがわかりました。

### 種類

全体に甲虫の仲間が最も多く、次いでカメムシの仲間とチョウの仲間がたくさんいました。次のような種類が出現種の一列です。

目名	: 確認が多かった種
トンボ目	: シオカラトンボ、オオシオカラトンボ、コシアキトンボ
バッタ目	: ニシキリギリス、ツチイナゴ
カメムシ目	: クマゼミ、アブラゼミ、ホシハラビロヘリカメムシ、マルカメムシ
チョウ目	: ベニシジミ、ホシミスジ、アオスジアゲハ、ナミアゲハ、キタキチョウ、モンシロチョウ
ハチ目	: コガタスズメバチ、ニホンミツバチ、セグロアシナガバチ

### 林の昆虫

マイマイカブリ、クロシデムシ、カブトムシ、ゴマダラカミキリといった大型～やや大型の甲虫をはじめ、ゾウムシ、ハムシ、カミキリムシ、クワガタムシなどの仲間がいました。林縁などでよく見るハヤシクロヤマアリや、日本でいちばんサイズの大きなクロオオアリも見つかりました。全体に、以前よりも大型の虫が少なくなっています。

### 田畑やため池・小川の昆虫

前回に比べて、ベニイトトンボ、ハラビロトンボ、コフキトンボ、アオイトトンボ、アキアカネなどが減少していました。逆に新たに出現したのは、マイコアカネ、コヤマトンボ、ハグロトンボの 3 種です。ギンヤンマ、シオカラトンボ、チョウトンボなどやオンブバッタなどはけっこう多く見られました。

### 草地の昆虫

色々な草が生えている公園などには、ベニシジミやモンシロチョウ、キタキチョウなどのチョウ類、ヒラタアブやニホンミツバチなどの仲間、カマキリ類などが生息しています。特に、千里北公園では、ショウリヨウバッタモドキ、ヤブキリ、マツムシ、カンタンといったあまり見かけなくなった昆虫類がまとめて観察されました。

### 植え込みなどの昆虫

ツマグロヒヨウモン（ビオラなどのスミレ類を食べる）、アオスジアゲハ（同クスノキ）、チャドクガ（サザンカなど）といった植込みの植物を「食草」とする昆虫類がいたほか、クマゼミ、アブラゼミなどが地面から出て飛び回ったり、繁茂してきたクズにクズハキリバチやクズタマムシ、マルカメムシが発生したりしていました。

### 外来の昆虫

ヒロバネカンタン、アオマツムシ、ヨコヅナサシガメ、ヒロヘリアオイラガ、モンシロチョウなどが有名な外来昆虫です。他にも、ラミーカミキリ、セイヨウミツバチなど合計 26 種類の外来種が見つかりました。



ヒラタクワガタ



モンキアゲハ



キンケハラナガツチバチ



ベニシジミ



ヒロヘリアオイラガ